

# 動物園だより

(題字 京都市長 門川大作)

No.145

平成20年7月1日発行

## 就任の御挨拶



京都市動物園長  
長谷川 淳一

この度、4月1日付けで京都市動物園長に就任いたしました。本園は我が国で2番目の歴史を有し、本年で創立106年目を迎えます。創立以来、市民の皆様に愛され、多くの御来園をいただく動物園の園長という重責に身の引き締まる想いです。

本園では、これまで新しい時代にみさわしい動物園として、御来園の皆様に楽しみながら動物の様々なことに気づいていただけるよう、動物の展示方法や動物園事業、各種イベント等に工夫を凝らして参りました。

また、本年4月には我が国を代表する知の集積である京都大学との間で、「京都市動物園における野生動物保全に関する教育・研究の連携」に向け協定書を締結し、動物たちのいのちに学び、いのちの大切さへの理解を深める「いのちの連携」を進めることとなりました。最初の取組として、我が国の動物園では初めて、大学の研究者が動物園に常駐し、本園職員との協同研究も始まりました。また、チンパンジーの群れ飼育とチンパンジーの知性研究を展示するための類人猿舎の改修も始まります。来年3月には御来園の皆様に、樹上生活の様子等を御覧いただける予定です。

本園では、市民の皆様「感動と安らぎ、癒しの場」、「こどもから大人まで楽しめる環境教育の場」、さらには「種の保存、研究の場」として、市民の皆様との連携による魅力ある動物園を目指して参ります。今後とも、より一層の御愛顧・御支援をよろしくお願い申し上げます。

## 京都大学との 野生動物保全に関する教育・研究の連携

京都市及び京都大学は、野生動物の保全と共生に向けた取組を当園において行うことを目的として、「野生動物保全に関する教育及び研究の連携に関する協定書」を締結し、4月18日(金)発足をいたしました。

この協定は、野生動物保全のための「種の保存」と「環境教育」を実践する場として、当園の機能充実を目指す京都市と、自然の在り方についての深い理解を伝えていくことを目指す京都大学とが連携し、野生動物の保全と共生に向けた取組を当園にて行うことを目的としています。これからの動物園の取組を見守ってください。



『堅い握手を交わす門川京都市長と尾池京都大学総長』

## ～夏のイベント～

### 第37回 小学生サマースクール 8月5～7日

小学生のみんな！君も飼育員になってみませんか？

市内の小学3年生～6年生を対象に募集します。どの動物の担当になるかはお楽しみに！担当動物の世話をしたり、近対抗の動物クイズ大会を行う予定です。

### 第23回 中学生動物園教室 8月19日

中学生の諸君！動物博士になろう！

市内の中学生が対象です。群れで暮らしているアカゲザルの行動を観察し、サル社会について学びます。閉園後の動物園ガイドツアーも人気のプログラムです。

### 第35回 小学生動物画コンクール 動物画家にチャレンジ！ 7月19日～9月5日 まで募集

市内の小学生を対象に、園内の動物たちや風景を描いた作品を募集します。あなたの個性豊かな楽しい作品を待っています。どしどし御応募ください。

## 新猛獣舎における事故について

6月7日、京都市動物園において、職員の生命が奪われるという極めて悲しい、残念な事故が起こりました。亡くなった職員のご冥福を心からお祈り申し上げます。動物園を楽しみにしておられた市民の皆様をはじめ、多くの皆様方には、大変ご心配やご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございません。本園では、この事故を教訓に、今後二度とこのような事故が起こらないよう、職員一同、全力をあげて安全対策に取り組み、皆様方に今まで以上に親しまれ、愛される動物園づくりを目指してまいります。今後とも、皆様の暖かいご支援、ご声援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

# ～ワオキツネザル物語～



現在サル舎ではワオキツネザル・シロテテナガザル・マンドリル・フサオマキザルの4種を飼育展示しています。今回は、昨年生まれた『バナナ』に引き続き、今年3月に『コケモモ』が誕生し、繁殖が順調に進み始めたワオキツネザルを紹介します。



## ブルー(オス)

1986年  
カナダ・ウィグベック  
動物園から来園  
(当時推定2才)  
富士顔であっとりした性格



## ハルヒコ(オス)

2001年5月28日  
姫路セントラルパーク  
生まれ  
シュッとした顔立ちで  
力関係はブルーより上



## ライチ(メス)

1993年4月27日  
(財)日本モンキーセンター  
生まれ

左耳が折れている  
仰向けになって日光浴する  
こともある



## ルナ(メス)

1999年2月20日  
宝塚動植物園生まれ

両耳が垂れている  
力関係はライチより上



## コケモモ(オス)

2008年3月1日  
当園生まれ

平安時代のような眉の模様  
母ライチ・父ハルヒコ



## バナナ(オス)

2007年3月14日  
当園生まれ

母親似で両耳がやや垂れ気味  
母ルナ・父ハルヒコ

新サル舎は、1957年から1961年にかけて建設されたサル舎の老朽化に伴い、京都市動物園100周年記念事業の一つとして2004年4月に建設されました。当時ブルー・ライチ・ルナの3頭を飼育していましたが、1994年以降赤ちゃんの誕生がなかったこともあり、同年12月に繁殖への切り札としてハルヒコを群れに迎えました。その後、メスと交尾している様子に赤ちゃん誕生の期待がふくらみましたが、妊娠にはいたりませんでした。



新サル舎完成・  
ハルヒコ婚入り







悲しみを  
乗り越えて…



【双子(上・バナナ)】

2006年春、ついにルナがハルビコの子を身ごもりました。5月6日の正午過ぎ、お客さんからワオキツネザルが出産しているとの連絡が入り、急いでサル舎に駆け付けたところ、逆子で、腕と頭が引っ掛かっている様子でした。ルナを捕まえ分娩を介助しましたが、残念ながら赤ちゃんは助かりませんでした。母体が無事だったのがせめてもの救いです。

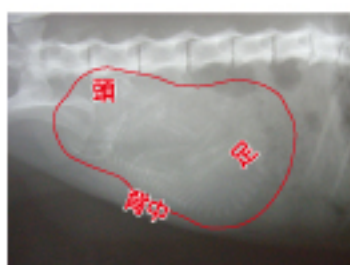
翌年、再び妊娠したルナは3月14日のホワイトデーに双子を出産しました。2頭のうち1頭は体力がなく、母親につかまっていることが出来なかったため育ちませんでした。もう1頭はしっかりと母親につかまって乳を飲み順調に育ちました。後に「バナナ」と名付けました。こうして待望のワオキツネザルの赤ちゃんが元気いっぱい走り回る日がやって来たのです。



【バナナ生後2箇月】



ママになりたりの



ルナが元気な子を産んだことで、もう1頭のメスのライチにも期待がかけられます。そんな矢先、2007年春のことです。ライチの右脇から喉にかけて腫れ始めたのです。腫れは大きくなる一方だったので、6月下旬に手術を行いました。その際の超音波で妊娠していることがわかり期待がふくらみます。7月11日についに産出、しかし、残念ながら死産でした。ライチの体調が思わしくなかったせいでしょうか。ライチにも元気な赤ちゃんを抱かせてやりたいという思いが募ります。

【ライチ・レントゲン写真 2007年3月20日撮影】

同年10月中旬に発情を迎え、妊娠への期待が高まります。

12月、再び右腹あたりが腫れ始め、1月下旬に治療を行う際、腹部を超音波で確認しました。今度こそ健康な赤ちゃんを産んでほしいと願いました。

3月1日の朝、無事に産出を確認しました。妊娠期間は139日(推定)でした。赤ちゃんの体毛はすでに乾いており、母親の右乳首にしっかりと吸いついていました。ライチは分娩に疲れた様子でしたが、午後には活動をはじめ、赤ちゃんも背中側まで動き回るなど母子ともに健康な姿を見られ、喜びもひとしおでした。

その子にはみんなから愛されるようにという願いを込め「コケモモ」と名付けました。



【生まれたばかりのコケモモ】



すんすん



コケモモは、3月とはいえ肌寒い日中のほとんどもを母親に抱かれて過ごし、母親が移動するときは背中に乗っていました。生後3週間ほど経つとひとりで地面に足を付けるようになり、無邪気に遊ぶ姿を私達に見せるようになりました。そして少しずつ母親から離れる時間も長くなり、餌を口の中に入れてあたり木にぶら下がったりできるようになりました。

【生後1箇月のコケモモ】

コケモモが生後2箇月頃からはコケモモと1才年上のバナナは互いに興味を持ち始めています。2頭はまだ体力に差があり対等に遊び回るまではいきませんが、今後、元気いっばいに飛び回っている光景が見られることでしょう。

また新しい命の誕生を期待しつつ、この子達に会いに来て成長を見守っていただければと思います。

【バナナ(右)が気になるコケモモ(左)】



## こんなことも

生後1箇月、動き回れるようになったバナナが、母親でない個体の背中に乗ってしまうというハプニングが何度か起きました。バナナは不安そうに母親のルナを呼び、ルナもわが子を取り返そうと必死で追いかけるという大混乱。最終的にはバナナが背中から離れた際、ルナがすぐ抱きに行くことで解決しました。

新サル舎での飼育開始から4年、何とかここまでできました。次は、1976年から1986年までの11年連続の赤ちゃん誕生記録の更新を目指したいですね。



【飼育担当 釜崎 宏枝】



## 飼育員のひと工夫！

飼育員が、動物たちや見に来ていただいているお客さんのために、いろんな工夫をしているのでのぞいてみましょう！

其の？

今回は噴水池です。

## 小さなビオトープを作りたい！

『アシとスイレン』

『杭打ち』



手がしびれる～

『ガマ』



因幡の白うさぎは、ガマの痛質(花粉)で体を治したよ！



ビオトープって？

人工的に作られた池などを、自然に近い形に造成した小規模な生態系のことです。観察などを通じ、環境教育の場として活用して行きたいと思っています。

メダカやタナゴが泳いでいるよ！



『説明板』

アメンボのことも読んでね～



\*アシとスイレンは草津市立水生植物公園みずの森からいただきました。

## できごと

## 新しい仲間

☆よこはま動物園からヤブイヌがやってきました。ケンタ(オス)とコモモ(メス)、ともに2歳です。コロツとした体型が、とてもチャーミング～！赤ちゃんの誕生を心待ちにしています。みなさんよろしくね！

『ケンタ』

『コモモ』



## 旅立ち

★当園にいたガイは、2頭と入れ替わりで、よこはま動物園へ繁殖のために旅立ちました。

これまで、みなさんに親しんでいただき、ありがとうございました。



## 誕生！

☆4月27日、アカゲザルの赤ちゃんが生まれました。サユミお母さんにしっかり抱きつき、おっぱいを飲んでいました。女の子で「オユミ」と名付けられました。

『出産当日撮影』



『4月21日撮影』



☆3月20日と4月5日に、インドオコウモリの赤ちゃんが、1頭ずつ生まれました。夏の間、ペンギン横で屋外展示しています。見に来てくださいね！

京阪神動物園めぐり～  
夏休みスタンプラリー！

京都市動物園・天王寺動物園・王子動物園をまわってスタンプを集め、オリジナル記念品を手に入れよう！

今年の夏はみんなでお動物園へおこしやそ～

7月19日(土)～8月31日(日)

\*詳しくは、ポスター・ホームページをご覧ください。  
<http://www.city.kyoto.jp/bunshi/zoo/>

三園初の開催

## 7月1日発売！

## Zooへっとパス

お待たせしました！待望の年間パスポートが発売です！

- ・販売価格：2000円(大人)
- ・有効期限：購入日から1年間

1年間何度でも入園していただけます！



■第146号の発行は平成20年9月11日(火)の予定です。  
■定期購読を希望される方は、80円切手4枚(1年分)を同封して京都市動物園までお申し込み下さい。

動物園だより №145  
発行所 京都市動物園  
京都市左京区岡崎法勝寺町岡崎公園内 TEL075(771)0210